

令和7年3月5日

芦屋市企画部市民参画・協働推進室
室長 小川 知瑞子様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

つきいちよるごはん事業報告書

- 1 日時：令和6年4月17日(水)・6月19日(水)・8月21日(水)・10月16日(水)・12月18日(水)・令和7年2月19日(水)(全6回)
17:00～19:00
- 2 会場：リードあしや オープンスペース1
- 3 担当：株本
- 4 参加者：合計102名(延べ人数)
大人24名、子ども37名、ゲスト27名(ゲスト子ども14名)
- 5 事業詳細
 - (1) 目的：親子で集いワークショップなどを通じて、日頃の子育てに関する悩みを共有できる交流の場をつくる。
 - (2) 内容：4/17 スライム作り、ボードゲーム
6/19 アロマキャンドルワークショップ
8/21 カラフルなバスボム作り
10/20 ハロウィンの飾りづくり
12/16 クリスマスリースづくり
2/17 折り紙で雛飾り

6 振り返り

【運営団体(パレット/瀬名さん)の感想】

普段、子どもの居場所を昼間に運営していましたが今回お声がけを頂き、一緒に運営をさせて頂きました。

発達障害や不登校など見えない困りごとを抱えた子どもたちも参加しやすいように心理的安全な場を心がけて運営することで学校など集団生活がしんどいお子さんも外に出て、親子で一緒に制作をしたり、食事をしたりするなどできる機会となり親御さんもととても喜んでくださっていたことが、私たちもととても嬉しかったです。

【全体】

- ・今年度は、子どもの居場所づくり活動を行っているパレットが全日程の企画運営を行った。スタッフのお子さん(発達障害や不登校などの困りごとを抱えている)も参加者と一緒にワークショップに参加したり、保護者の方から

普段はあまり外に出ないが、この居場所では楽しむ様子が見られたとの報告を受けた。

- ・参加者は同じグループで毎回参加する傾向があった。
- ・テーマによる参加の有無はほとんどなかった。
- ・夕食の提供は好評で、母親の家事負担の軽減になっていると感じられた。
- ・夕食の提供があることによって参加者同士のつながりが深まることはメリットであるが、参加人数が6組であるため、ほぼ同一の参加者になり、新たなコミュニティづくりが難しい面があった。

【5年間の活動結果】

前半3年間はコロナ禍の影響もあり、中止や夕食提供なしで開催した時もあったが、後半2年間は参加者や運営者のニーズに合わせ、曜日や時間、対象年齢を変更するなど試みた。

当初は参加者であった方たちが次年度は活動者となり、その後は個々に活動を始めた方もいた。子育て中であっても自分のやりたいことで社会とのつながりを持ち、キャリアを持続したいという傾向がみられた。

今年度は1団体(パレット)に運営を担っていただいたが、同団体のメンバーの参加が多く、参加者がほとんど同一となってしまったため新たなつながりや活動を作ることが難しい面があった。この取り組みは今年度をもって終了とする。

以上



4月



6月



8月



10月



12月



2月